

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	70%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	53%	自校A B層の割合	43%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究を軸として、総合的な学習だけではなく他教科の課題解決型の授業改善を推進する。</li> <li>・授業を公開し、互いに観察し振り返ることのできる環境をつくる。</li> <li>・教科担任制(5, 6年生)を活用し、教材研究を深め、教員の専門性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数の授業の初めの5分間にスキルアップタイムを設定して基礎基本の定着を図る。</li> <li>・読書科の授業や朝読書の時間を通して本で学ぶ児童を育てる。また、読解力向上のため、よむYOMUワークシートや読解に重点をおいたワークプリントを学習で活用する。</li> <li>・3年生から算数科において、習熟度別指導を取り入れて、きめ細やかな指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川っ子 study week を実施し、家庭学習習慣が身に付くように呼びかける。</li> <li>・東京ベーシックドリルやドリルパークを活用する。</li> <li>・SNS 学校・家庭ルールの見直しをする。</li> <li>・定着度調査の学習カルテを活用し、個々に合った家庭学習の取り組みを行い、児童の学習意欲を高める。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手研修や特別支援教育に関する研修を設定し、教員の個に応じた指導力の向上を目指す。</li> <li>・ICT研修を設定し、支援が必要な児童の理解を促すようなICT活用の力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習教室を通して、個に応じた指導を行うことで算数の既習事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談、保護者会を活用して、家庭学習習慣が身に付くように保護者に呼びかけ、家庭との連携を図る。</li> <li>・放課後補習教室や家庭学習との連携を図る。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学校生活アンケートで児童の学習意欲に関する項目で肯定的回答75%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベーシックドリル算数診断シートにおける各学年の目標到達値の通過率を達成しているか。</li> <li>・江戸川区学力調査で各学年の目標到達値の通過率を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひがこまスタイルアンケートで「時間を決めて家庭学習に取り組む」という項目の肯定的回答率80%以上を目指す。</li> </ul>

